



松田動物健康協会会长の話に熱心にメモを取る AHB インターナショナル(株)の小川社長と(株) AHB の川口社長

ればならない。そのためにこの医薬品登録販売者資格は、有効な手段として会員に紹介している」と語る。

「これはトリマーが取得すべき資格。飼い主が一番信頼を寄せるのがトリマーで先生と呼ばれる存在。トリミングだけではなくペット個々へのアドバイスや健康管理のための医薬品を販売することで、飼い主と更に強固な信頼関係を獲得できる。トリマーの地位向上にもつながり、自営の道も開ける。今後のペットビジネスはサービス主体で、かゆいところに手が届く馴染みの店が生き残っていく」（寺内氏）

寺内氏は、資格取得そのものにより、医薬品登録販売者資格に

進まぬ自治体の対応

動物用医薬品登録販売者資格試験は、平成23年1月に東京都で実施され約70名が受験したが平成24年以降の実施については東京都を含め全ての自治体で未定となつてゐる。

「今、ペット業界に最も必要な人材とは、ペットの健康について助言できる健康アドバイザーである。その役割を担うに最適なのが、ペットショップスタッフ、トリマー、シッター、ブリーダー、医薬品の知識と販売資格を持つアドバイザーのニーズは、まだ潜在的だが非常に大きい。こうしてトレンドに業界や自治体が気づいていない為、実施が不確定になつてゐる。動物健康協会の独自調査では、登録販売者資格の案内をして受験する割合は全体の約4%。ペット業界関連從事者は現在、およそ10万人いるため、今後毎年4000名以上が受験すると予測している」(公田)

よつて、ペットの健康について飼い主とペットショップやトリマーがより緊密な関係を構築することができる点に注目し、ここに新たなビジネスチャンスがあると考えている。

この登録販売者資格は「知識はあつても資格がなければ、販売することが出来ない独占的資格」(寺内氏)だが、「動物健康協会では『医薬品登録販売者資格取得システム』の他、1. ペットの健康状態を鑑別判断出来るシステムの紹介2. 動物用医薬品配置販売業サポートシステム3. 煩雑な動物用医薬品販売業の開業申請や医薬品仕入サポート4. 人用の医薬品登録販売資格を得た人のために動物の健康と医薬品を学ぶeラーニング教育5. 療法食の仕入販売サポート6. 動物用サプリメントの仕入販売サポートなどきめ細かく情報提供し、資格取得後のケアも十分行い、この資格の普及を万全にする。」と柳川事務局長は語る。

このレポートの最後に、動物用医薬品登録販売者資格の普及によって、大きな変換を迫られる医薬品業界の声を聴いた。人用の配置薬販売で65年の歴史を持つ医薬品メーカー中央薬品株の取締役常務三井氏は「動物用医薬品登録販売者資格の普及を想定して、わが社でも動物用医薬品販売業の資格を昨年取得し、参入の準備は整った。この資格の普及によって、これまで一般的に



中央ケネル事業協同組合連合会の桜井要治氏

知られていなかつた動物用医薬品販売チャネルの末端にドラッグストアやペソットショッピングサロンが現れ、消費者が認知しやすくなることで、医薬品メーカーや卸商は変革を余儀なくされる。わが社はまず卸売に注力し、時期を見て製造に参入する。動物用栄養食品やサプリメントを製造してきた実績からこの分野に関しては出来る限り早く市場に参入したい。既存のルートを確立している卸商は、動物病院との取引があるため、市場のニーズに消極的にならざるを得ないが、「新規参入のわが社にとってはしがらみがない分、自由に動ける」と市場開拓への意気込みを語った。

知られていなかつた動物用医薬品販売チャネルの末端にドラッグストアやペットショップ、トリミングサロンが現れ、消費者が認知しやすくなることで、医薬品メーカーや卸商は変革を余儀なくされる。わが社はまず卸売に注力し、時期を見て製造に参入する。動物用栄養食品やサプリメントを製造してきた実績から、この分野に関しては出来る限り早く市場に参入したい。既存のルートを確立している卸商は、動物病院との取引があるため、市場のニーズに消極的にならざるを得ないが、新規参入のわが社にとってはしがらみがない分、自由に動ける」と市場開拓への意気込みを語った。

改正薬事法の全面施行されたこの3年間で、人用医薬品登録販売者数は、約10万人と急激な伸びを示したのに對し、動物用は3400人と30分の一の数。しかし、肥満、高齢が顯在化し、ペットの健康へのニーズが高まる今、未病に対応するホームドクターのような動物用医薬品登録販売者とその資格は、ペット業界に更なる成熟をもたらすに違いない。

PETS REVIEWでは、今後も動物医薬品登録販売者資格の行方を見守つていく。



ペツツジャパン(株)
吉内士郎代表取締役

37 PETS REVIEW February 2012

がアルノイトとして配置販売業に従事すれば、本業と両立させて無理なく実務経験を積むことができる。配置販売業では店舗販売業の業態と違い、本業を犠牲にすることなく実務経験が積め、受験資格を取得できる。

自分の余暇や出勤前の時間を利用するなど、本業があつてもやりくりすれば、月80時間も配置販売に費やすことができる。

動物用医薬品に関する薬事法
を管轄する農林水産省では、潜
在的な動物用医薬品登録販売者
試験の受験希望者が増加する可
能性について都道府県へ情報提
供した。

たが、生体を含めた物販、トリミング、ホテル業務を行うわが社では、顧客のリピートや固定化を促す戦略として医薬品販売は不可欠。以前から動物医薬品条例販売許可証はあったが、登録販売者になり、動物用医薬品店舗販売業の許可を取れば、取り扱える医薬品の幅が数百品目に広がり、飼い主のニーズに十分応えることができる」

ないことは暗記。受験後の「生える知識」を身につけること、主眼を置き、ビジュアルとして裏に浮かぶよう配慮した。忙い受講者がスケジュールに応じて選択できるようeラーニングとキストで構成し、1単元も15分と飽きずに受講できるようにした」と柳川事務局長は語る。

実際にこの受験対策講座を受講した佐野氏も「受験対策用(ひよこばん)、ばん)努力(めり)つづ

あつたため、資格取得を実行に移すには抵抗がなかつた。現在は3名のスタッフに資格取得を得て、奨励し、また医薬品販売許可証を取得して、店舗販売に向か準備を進めている。「動物健康協会の『医薬品登録販売者資格取得システム』は非常によく出来ている。配置薬販売と言つても営業ではなく、利用者の家の薬を預けるだけ。利用した時に代金がかかるので、毛筆者によつて行

中央ケネル事業協同組合連合会の桜井要治氏は「ケネル事業協同組合は、全国で15の地域組合があり、会員全員が動物取扱業資格を有し、ペット関連事業を営むJ K C会員でもある専門店集団。今後、組合員のペットショップは、その専門性をいかにアピールできるかが繁栄のカギとなる。ホームセンターや量販店の台頭で、これまで業界全体で生体を含めた物販に比重が置かれてきた。しかし、今後は専門性を打ち出し、ペットの健康や美容を維持するサービスの提供に努め、差別化を図っていかなければ